

甘 監 発 第 16 号
令和 7 年 2 月 14 日

甘楽町長 森 平 仁 志 様

甘楽町監査委員 松 浦 彰 一



甘楽町監査委員 中 野 喜久勇



令和 6 年度定期監査の結果報告について

甘楽町監査基準（令和 2 年監査委員告示第 1 号）、甘楽町監査基準実施要領、
地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 1 項第 2 号並びに第 4 号の
規定に基づき、別紙のとおり定期監査を実施したので、その結果を同法同条第 9
項の規定により報告します。

令和6年度 定期 監査 結果 報告

1. 監査の期日

令和7年1月24日（金）・27日（月）・28日（火）・29日（水）の
4日間

2. 監査の対象

1月24日（金）水道課

1月27日（月）福祉課・教育課・総務課・企画課

1月28日（火）健康課・建設課・産業課・住民課

1月29日（水）現地調査（産業課・建設課・福祉課）

3. 現地調査（1月29日） … 下記について実施した。

①植林体験事業委託（業務完了）

工事費：1,271千円

工期：R6.9.2～R6.10.10

②ちいじがき蕎麦の館「那須庵」改修工事（完成）

工事費：14,014千円

工期：R6.4.30～R6.8.30

③大手門周辺公園整備工事（工期途中）

工事費：21,450千円

工期：R6.7.30～R7.1.30

④甘楽SIC白倉7㍑道路道路改良工事（6-1工区）（工期途中）

工事費：91,080千円

工期：R6.5.20～R7.3.28

⑤甘楽SIC白倉7㍑道路道路改良工事（6-2工区）（工期途中）

工事費：42,460千円

工期：R6.4.30～R7.3.11

⑥甘楽SIC白倉7㍑道路道路改良工事（6-3工区）（工期途中）

工事費：35,750千円

工期：R6.4.30～R7.3.4

⑦多世代サポートセンター外壁改修工事（工期途中）

工事費：34,430千円

工期：R6.8.30～R7.1.31

4. 監査の概要

定期監査の対象は「財務に関する事務の執行」と「経営に関する事業の管理」であり経営監査的な観点から監査した。

監査対象課より予め監査資料の提出を求め、令和6年度の概ね100万円以上の主要事業を中心に次の事項について重点を置き監査した。

- (1) 財政運営の状況
- (2) 事業の執行状況
- (3) 事務事業の経済的執行及び効果

5. 監査の内容及び状況

(1) 総務課

『秘書係』 今年度は、監査対象事業なし。

『庶務係』

- 消防費の主な支出は広域市町村圏整備組合の負担金であった。また、常備消防と消防団が連携して、消火活動のほか予防消防や防災活動に大きな役割を果たしている。
- 公用車購入では、事業課で使用する軽トラック1台と平時では公用車として使用し災害発生による停電時には非常用電源として使用できる電気自動車を1台購入した。
- 消防車購入事業では、消防団第1分団第2部（小幡、上野、轟地区）に配備のため1台購入した。

『行政係』

- 広報（4,900部）の発行は順調であり、町民に親しまれる紙面づくりに努力している。
- 町民カレンダー発行部数は、5,350部を予定。
- 住民センター建設補助金は、3行政区で住民センター等の屋根や空調設備等の修繕工事費用として事業費の1/3を補助している。
- 魅力あるコミュニティ事業として、9つの行政区で備品類を整備した。1区に消防ホース21本、3区に洗浄機能付き便座2基、9区に回転椅子12脚、10区に消火栓用ホース格納庫4基、20-1区に座卓16台、21区に洗浄機能付き便座1基、23区に消火栓用ホース格納庫・架台1基等、25区に発電機2基、28区に消防ホース15本を整備した。
- 町長選挙（無投票）、町議会議員2名欠員の再選挙（無投票）、衆議院議員選挙（10月27日投開票）関連予算を執行した。

『地域魅力化特命対策室』

- 地域活性化起業人（副業型）制度を活用し、人間国宝が主催する木工藝学林清雅舎メンバーの取組に対する側面支援を行っている。

【監査結果及び意見】

- 1) 財政運営の執行状況について
予算の執行状況は、概ね適正なものと認められた。
- 2) 事務事業の執行状況について
総務課の主要な事務事業は、適切に執行されている。
- 3) 事務事業の経済的執行及び効果について
消防防災事業等は、安全安心な町づくりに必要不可欠な事業であり適正な執行であると認められた。

(2) 企画課

『財政係』今年度は、監査対象事業なし。

『企画調整係』

- デマンドタクシー運行費補助は、高齢者をはじめとする交通弱者の移動確保の役割を果たしている。デマンドタクシー「愛のりくん」の利用者数は概ね順調に推移しており、登録者は12月末現在1,450人となっている。
- 上信電鉄運行維持事業は、経営再建計画に基づき実施する輸送高度化及び鉄道基盤設備に対して沿線市町村で補助を行っている。
- 地域おこし協力隊員は、現在は10名在籍している。
- 国際交流事業は、友好都市の中国ハルビン市から、第12次ハルビン市学生研修団を受け入れた。また、町からも第10次中学生国際交流研修団の派遣を行い、施設見学やイベント等を実施し相互交流を図った。
- The Hotel かんら「甘楽邸」事業は、平成31年から運用を開始している。本年の宿泊数は147泊、延べ宿泊者数は496人となっている。
- 空き家除去・改築事業では、危険空き家除去費用として5件に補助を行った。
- 空き家片付け補助金事業では、空き家バンクに登録された2物件に係る家財道具等の処分に要する経費に補助を行った。
- 若者定住促進事業では、町内に定住または町内企業に就職する若者34名に対し、奨学金の返済に要する経費の補助を行い定住に向けた取り組みを行っている。
- 町政65周年記念事業では、町発足65周年を記念し、記念式典及び祝賀会を実施した。また、友好交流都市のイタリア・チェルタルド市及び中国・ハルビン市の使節団の受け入れを行った。

『情報政策係』

- 行政事務の電子化は、住民に対する、より質の高いサービスの提供と共に、効率的な業務の推進による人員や業務コストの削減効果などが期待され

ている。支出の主なものは、システム運用管理費として、サーバ、端末、プリンター等の機器借上料、ソフトウェア使用料及び保守料のほか令和7年度末までに移行が義務付けられている国の仕様に基づくシステム標準化の作業を実施している。

○デジタル専門人材派遣業務委託では、国の制度を活用し、外部のデジタル人材を町ＣＩＯ補佐官に委嘱しＤＸの取組みを進めている。

○会議用大型モニター設置事業では、役場会議室、公民館、ら・ら・かんら文化会館の会議室に大型モニターを設置し、ペーパーレス会議促進を図っている。

【監査結果及び意見】

1) 財政運営の執行状況について

予算の執行状況は、おおむね適正なものと認められた。

2) 事務事業の執行状況について

企画課の主要な事務事業は、適切な執行がされていた。

3) 事務事業の経済的執行及び効果について

地域おこし協力隊は、町の活性化に有効な事業であり積極的な展開を期待する。

(3) 住民課

『税務係』

○まちづくり定住応援金事業対象者は、31戸分で金額は3,850千円交付済である。

○令和9年度評価替えに向けて固定資産土地評価業務を委託し、土地・家屋の課税を適正かつ公平に保っている。

『住民税係』

○定額減税補足給付金給付事業では、補足調整給付金を2353人に給付したほか定額減税に係るシステム改修を行っている。

『住民係』

○戸籍住民基本台帳経費では、法改正に伴い戸籍の記載事項の氏名に振り仮名を追加するためのシステム改修を行っている。

○個人番号（マイナンバー）カードは、令和6年11月末で、累計交付枚数は10,240枚、交付率は82.0%となっている。

『環境係』

○環境対策事業では、住宅用太陽光発電設備蓄電池設置補助金として蓄電池

1kw 当たり 10 千円(上限 50 千円)の補助を行っており、12 月までに 9 件、499 千円の補助金を交付した。

○ごみ収集処理委託事業のうち、ごみ処理委託は、家庭系の可燃ごみkg当たり 49.5 円で富岡市清掃センターと契約し、焼却委託料が上半期分で 48,087 千円である。また、定住自立圏構想における可燃性粗大ゴミ処理費は 549 千円であった。収集処理委託料では、可燃ごみ、へい獣回収、不燃ごみ、分別収集等の回収運搬等の作業を委託し、12 月末までに 23,586 千円を支出している。

○ごみ埋立処理事業では、白倉最終処分場浸出処理施設の循環ポンプの修繕、水位レベル器交換 6 基、ろ過原水ポンプ交換 1 基の修繕工事を実施したほか設備の保守点検、浸出放流水の水質検査を実施している。

【監査結果及び意見】

1) 財政運営の執行状況について

予算の執行状況は、おおむね適正なものと認められた。

2) 事務事業の執行状況について

住民課の主要な事務事業は、適切な執行がされていた。

3) 事務事業の経済的執行及び効果について

9 年度の評価替えに向けた準備を進めているが、適正な課税をお願いする。家庭から少しでもゴミを出さない取り組みについて住民意識も向上しているが、更なるゴミの減量化に向け周知徹底に努めていただきたい。

(4) 福祉課

『福祉係』

○社会福祉協議会運営費補助金を第 3 四半期まで 12,095 千円、事業費補助金を 1,117 千円支出している。

○低所得世帯支援給付金事業では 6 年度に新たに住民税非課税・均等割りとなった 184 世帯(子どものいる世帯には子ども 1 人に対し 5 万円の加算) 19,865 千円を支出している。また、物価高騰に係る低所得世帯に対する支援として 6 年度住民税非課税世帯に 3 万円(1,200 世帯分と子どものいる世帯には子ども 1 人に対し 2 万円を加算)の給付を予定している。

○本年の敬老祝金支給者は、100 歳を迎えた 6 人の高齢者に 10 万円を支給。88 歳・99 歳・101 歳以上に 1 人 1 万円分の商品券を支給した。また、89 歳から 98 歳の対象者に対しては、今年度はエコバッグ配布した。

○老人クラブ補助金は 19 クラブに高齢者の活動を支援するため 914 千円の補助金を交付している。

○一般社団法人シルバー人材センター運営補助金は 7,000 千円を支出して

いる。

- 高齢者見守り移動販売事業では、買い物困難地域で高齢者の見守り活動を兼ねた生活物資の移動販売業者4者に対し914千円を補助している。
- 高齢者補聴器購入補助金では、聴力が低下した高齢者19人を対象に補聴器購入補助として472千円を交付している。
- 在宅福祉サービス事業の特定疾患及び人工透析患者等の見舞金支給対象者75名である。養護老人ホーム入所措置委託料は、現在入所者は1名で12月分まで2,652千円を支出している。また、ねたきり老人等紙おむつ支給は年4回支給のうち3回支給済みで603千円を支出している。
- 障害者自立支援介護給付・訓練等給付費は、11月サービス提供分までで1億8,004万2千円となり、11月現在の各種サービス利用者は、延べ165人である。また、地域活動支援センター2箇所に委託料9,013千円を支出した。(12月支出分まで)
- 福祉センター管理運営については、指定管理者の社会福祉協議会へ委託料として第3四半期分まで15,667千円を支出した。
- 多世代サポートセンターの外壁改修工事に係る設計監理業務及び改修工事(主に外壁の塗装修繕等)を実施している。

『こども係』

- 放課後児童健全育成事業は、3小学校区で実施している学童保育所の運営委託料を第3四半期分まで13,056千円を支出した。また、新屋学童保育所(旧新屋幼稚園)の下水道配管修繕工事を行った。
- 少子化対策推進事業では、7年度から11年度を期間とした第3期子ども・子育て支援事業計画に係る作成業務を委託している。
- 新婚生活助成金では、新たな婚姻世帯への住居費及び引越費用、リフォーム費用の一部を補助している。1月分まで5件に1,307千円の補助を行っている。
- 特定教育・保育施設補助事業では、かんら保育園、めぶきの森かんらに通う3~5才児の給食費を事業者に対して1人あたり5,200円の補助を行っている。
- 子育て支援センター業務委託料として第3四半期分まで10,121千円支出した。
- 児童手当は、中学校修了までの児童を扶養する者に6月・10月・2月に4ヶ月分まとめて年3回支給。6年10月より高校修了まで支給が拡大された。制度改正により3歳未満児は第1子・2子に月額15,000円、第3子以降月額30,000円で、3歳以上高校終了前は第1子・2子に月額10,000円、第3子以降月額15,000円となった。12月支払期の支給者対象者の実人数は810名である。

- 施設型給付事業では、めぶきの森かんら、かんら保育園の運営補助金を214,172千円（12月分まで）支出した。
- 管外保育実施委託については、12月末現在で43人（昨年57人）を管外委託しており、委託料は12月分まで32,142千円である。なお、管外からの園児受入れは7人となっている。
- 放課後子ども教室推進事業は、3小学校区で1年生～6年生の放課後児童の安心安全な居場所づくりとして実施している。12月分までで4,030千円委託費を支出している。

『介護保険係』

- 特別会計の介護サービス給付事業は、要介護認定された者の保険給付費が12月末現在594,070千円で、前年を50,557千円程度下回っている。
なお、1割の定率利用者負担額が著しく高額となった場合に保険給付を行う高額介護支援サービス事業費は、12月末現在で17,826千円支出されている。低所得者の施設利用が困難とならないように一定額以上保険給付される特定入所者介護サービス事業費は、12月末現在で22,705千円支出されている。

【監査結果及び意見】

- 1) 財政運営の執行状況について
予算の執行状況は、おおむね適正なものと認められた。
- 2) 事務事業の執行状況について
福祉課の主要な事務事業は、適切な執行がされていた。
- 3) 事務事業の経済的執行及び効果について
多世代サポートセンター（にこにこ甘楽）は、順調に推移しているが、住民に不便を感じさせないよう、今後もPRに努め、安定した運営とサービス提供を望むものである。

(5) 健康課

『国保係』

- 一般会計の福祉医療費支給事業（医療費助成）の9月診療分までの執行状況については、0歳～高校生世代までの子ども1,806人で38,178千円であった。また、重度心身障害者は125人で17,168千円、高齢重度心身障害者は114人9,615千円、母子家庭で151人3,762千円であった。
- 一般被保険者の保険給付費のうち、12月末現在の療養給付費・療養費の合計は、568,571千円であり、高額療養費の合計は104,331千円である。
- 国保特別会計の疾病予防事業は、国保被保険者の人間ドック受検補助医療機関を7医療機関に委託し、短期（一泊）・日帰り・脳ドックの合計支出

済額は12月末日現在6,923千円である。

『保健係』

○各種検診事業として、大腸癌、胃癌、子宮頸癌、乳癌、前立腺癌・骨密度検診等の指導事業を実施し成果を上げている。

癌検診によって、早期発見、早期治療で住民の健康を守るため努力しており、該当者全員が受診するよう啓発を望むものである。

○12月末の65歳以上のインフルエンザ予防接種者数は2,060人となり、子ども・妊婦を対象のインフルエンザ予防接種者は12月末で150人であった。また、6月より50歳以上を補助対象として実施がされている带状疱疹予防ワクチン接種者は88人である。

○高齢者及び受検生の新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種事業に着手し、12月末までに424人の接種を行い、接種委託業務費を5,705千円支出した。

【監査結果及び意見】

1) 財政運営の執行状況について

予算の執行状況は、おおむね適正なものと認められた。

2) 事務事業の執行状況について

健康課の主要な事務事業は、適切な執行がされていた。

3) 事務事業の経済的執行及び効果について

医療・健康管理事業など、住民の生活に直結した重要な事業であり適正な執行であると認められた。

(6) 産業課

『商工観光係』

○若年者雇用支援事業では、雇用拡大と定住化を図るため新卒者4人と1事業者に対して1,250千円の補助を行った。

○観光キャンペーン事業では、3大パークと道の駅の周遊を促進するシャトルワゴンの運行を春と秋に実施し、2,468千円を支出している。

○物価高騰対応重点支援事業では、燃料高騰等の影響を受けている町民の負担軽減を図るため5,170世帯に燃料券を交付する準備を進めている。

○商工振興事業では、企業誘致促進事業として新規又は規模拡大した3事業所へ固定資産相当額等の補助を実施している。

○観光イベントでは、花火大会、かんらプロレスフェスタを盛大に開催した。

○金融対策事業として、小口融資資金利子補給金9,000千円の支出を予定している。また、新型コロナウイルス感染症対策として、前年同月比で売上が10%以上減少した場合に、貸付利率(1.9%)の全額利子補給を行って

いる。

- 創業支援事業（チャレンジショップサポート事業）では、事業継続に取り組む店舗等及び移動販売を行う者に対し、器具購入費の一部の補助を行っており1件、128千円を補助している。また、創業支援計画による創業支援の取り組みとして事業者が行う創業支援塾の開催を行っている。
- 信州屋管理運営事業については、交流センター（信州屋）の管理運営を指定管理者のNPO法人自然塾寺子屋に委託している。

『農林係』

- 農業振興事業では、蚕糸業継承対策事業、農業経営力向上事業などにより農業者の支援や県費補助金を活用する対策が施されていた。
- ふるさと甘楽仕送り便は、親元を離れ町外で生活する学生に対し、町内で製造・生産された食品の詰め合わせを80人の学生に2回ずつ配送し、1,109千円を支出した。
- 物価高騰対策支援として原油価格上昇や物価高騰に伴い農業経営に経済的な影響を受けた農業者に対し、肥料・資料等の購入経費の一部補助を昨年度に続き予定している。
- オーガニック推進協議会補助金は、国のみどりの食料システム戦略交付金事業を活用し、町のオーガニック推進協議会が行う有機農業地産づくりの取組に対して概算払いで7,080千円支出している。
- 有害鳥獣駆除事業では、甘楽町有害鳥獣対策協議会へ委託し、イノシシ・ニホンジカ・ハクビシン・カラスなどの駆除を行っているほか、会員の狩猟免許取得等に対する補助を行っている。
- ぐんま緑の県民基金を活用し、困難地整備支援として白倉地内の麻場城址南の竹林整備をはじめ、上引田住民センター北竹林など8箇所の荒廃した竹林・山林の整備及び管理を実施した。
- 植林体験事業委託では、産官学連携による「甘楽の天然水商品化プロジェクト」事業において、水源涵養の意識醸成を図るため町内小中学生及び高崎商科大学学生を対象に植林体験事業を委託し、1,271千円を支出した。

【監査結果及び意見】

- 1) 財政運営の執行状況について
予算の執行状況は、おおむね適正なものと認められた。
- 2) 事務事業の執行状況について
産業課の主要な事務事業は、適切な執行がされていた。
- 3) 事務事業の経済的執行及び効果について
原油価格・物価高騰に伴い農業者に対する支援事業等を進めており、その事務事業は適正な執行であると認められた。

(7) 建設課

『建設係』

○土地改良事業の主な工事は、次のとおりである。

- ① 用水路改修工事（小幡地区） 2,387 千円
- ② 農道改良工事（後性寺地区） 3,520 千円
- ③ 農道改良工事（田口工区） 26,928 千円
- ④ 用水路改修工事（入木屋地区） 3,410 千円
- ⑤ 用水路改修工事（新屋下地区） 4,895 千円
- ⑥ 舗装工事（石堂場地区） 4,257 千円
- ⑦ 農道改良工事（伏鹿地区：繰越） 4,752 千円

○林道整備事業では、林道芳の元線及び林道稻含高倉線の法面工事、林道大平線の舗装工事等を行っている。

○社会資本整備総合交付金事業として、甘楽スマート IC 白倉アクセス道路改良工事、町道久保田線道路改良工事、町道天王下平線道路改良工事を実施しているほか、町道生板木、小幡新町線測量設計業務を委託している。

○このほかは、町道の改良・橋梁維持補修等が主な事業の支出であった。

『都市計画係』

○都市公園等管理事業は、安全で快適な公園環境づくりを進めるため公園施設の維持修繕及び植栽木等の管理に努めている。公園・広場は地域住民の憩いの場として利用されているので、造園業者・シルバー人材センターと十分協議しながらより良い管理を望む。

○道路維持修繕事業では、主要な町道路の外側線、側溝、舗装等の修繕工事及び行政区からの要望による生コン、砕石、溝蓋等の材料支給を行なっている。

○社会資本整備総合交付金を活用し、福島幼稚園舎解体工事に 21,065 千円支出した。また、大手門周辺公園整備として、旧小幡幼稚園跡地の公園整備に向けた造成や総合公園内の遊歩道の整備及び舗装の更新を実施している。

○生活環境と地域経済の活性化を図るため、住宅リフォーム促進事業を行っている。交付決定件数は 15 件で、2,050 千円の補助金を交付している。

【監査結果及び意見】

1) 財政運営の執行状況について

予算の執行状況は、おおむね適正なものと認められた。

2) 事務事業の執行状況について

建設課の主要な事務事業は、適切な執行がされていた。

3) 事務事業の経済的執行及び効果について

甘楽スマートインターチェンジアクセス道の整備事業については、順調に整備が進捗している。完成後は交通の利便性が高まることが期待される。

(8) 教育課

『学校教育係』

- 英語指導助手設置事業では、中学校に1名、小学校に3名体制である。
- 小学校教師用と生徒用のタブレットPC及び周辺機器等更新事業を実施。
- GIGAスクール構想に基づくタブレットPCについて、保守委託のほか学習ドリルライセンスの購入を行っている。
- 水泳受託事業では、民間のスイミングスクールを利用した水泳授業を行っており、本年度は60回の実施となった。
- 備品購入事業では、小・中学校で老朽化した児童生徒用の机と椅子を計画的に交換している。
- 小学校施設維持管理事業では、小幡小学校・新屋小学校において校庭に設置されているブランコの更新、小幡小学校校舎の外壁補修工事を行った。また、新屋小学校では、プール跡地の駐車場整備が進められている。

『給食センター』 今年度は、監査対象事業なし。

『社会教育係』

- 保健体育振興事業は、団体育成費と選手強化費等であるが、今後も各種団体と連携し、町民の健康づくりに役立つようなスポーツの普及を望むものである。なお、今年度のさくらマラソン大会は2,233人の参加申込があり1,975人が完走した。

『文化会館』

- 自主事業委託料では、かんら薪能の他、歌謡ショー、子ども参加ミュージカル「瓶ヶ森の河童」公園、映画やコンサート等を実施した。また、文化会館ホール内の舞台音響設備保守点検を実施している。

『図書館』

- 図書館運営事業では施設用備品購入費として、ら・ら・かんら研修室の会議用長テーブル・椅子の老朽化等による一斉更新を行った。

『文化財保護係』

- 名勝楽山園は、開園以来さまざまなイベントを開催し、大勢の観光客が来園している。今年度はホテル観賞会、御殿のお月見会を実施した。また、

園内の拾九間長屋の茅葺屋根上部くれぐしの経年劣化に伴う修繕工事を実施し、1,672千円を支出した。

○宝くじ助成事業（一般コミュニティ助成金）を活用し、第22行政区において祭事用品（1尺8寸胴長太鼓新調、1尺7寸胴長太鼓修繕）の整備に対し1,900千円の補助を行った。

【監査結果及び意見】

1) 財政運営の執行状況について

予算の執行状況は、おおむね適正なものと認められた。

2) 事務事業の執行状況について

教育課の主要な事務事業は、適切な執行がされていた。

3) 事務事業の経済的執行及び効果について

町の将来を担う子どもたちの教育環境整備が順調に進められている。

さくらマラソンや元旦駅伝競走大会は、町の活性化や健康増進に貢献している事業である。参加者の安全に配慮のうえ実施をお願いする。

文化会館は、今後も収益性を考慮しつつ良質なイベントを提供願いたい。

楽山園については、イベント等に取り組み、引き続きPRに努めていただきたい。

(9) 水道課

『施設係』

○上水道事業

・ 町内一円配水管布設工事設計業務委託	事業費	5,060千円
・ 白倉浄水場着水流量計変換器交換工事	事業費	1,353千円
・ 町道前田、大山線配水管布設替工事	事業費	24,200千円
・ 町道生板木1号線配水管布設替工事	事業費	5,709千円
・ 県道金井高崎線道路改良工事に伴う配水管布設工事	事業費	3,300千円
・ 町道遠出居、観音堂5号線配水管布設替工事替	事業費	3,960千円
・ 町道屋敷下、天王線外3路線舗装本復旧工事	事業費	13,530千円

等を実施し、安全で安定した水の供給を図った。なお、一般会計において「かんらの天然水」の製造を行った。

○下水道事業

農業集落排水事業（善慶寺・国峰地区）、公共下水道事業、特定環境保全

公共下水道事業の管渠布設工事及び舗装復旧工事等を次のとおり実施している。主なものは以下のとおりである。

- ・管渠布設等工事 (6-1 工区 L=65m、6-2 工区 L=112m、6-3 工区 L=29m)
- ・自動微細目スクリーンユニット交換工事 大字善慶寺地内
- ・善慶寺・国峰地区雨水侵入水調査（音響調査）
- ・マンホールポンプ場遠隔監視システムLTE化 大字善慶寺地内（8基）
- ・マンホールポンプ場機器修繕 ポンプ交換等、制御盤更新（4箇所）
- ・福島西地区マンホールポンプ制御盤移設工事
- ・下水道事業の公営企業会計移行支援業務委託を行っている。

【監査結果及び意見】

1) 財政運営の執行状況について

予算の執行状況は、おおむね適正なものと認められた。

2) 事務事業の執行状況について

水道課の主要な事務事業は、適切に執行されている。

3) 事務事業の経済的執行及び効果について

町民へ安全で安心して飲める水道水の確保に努めており、その事務事業は適正な執行であると認められた。下水道事業においては、善慶寺・国峰地区農集排水処理施設の公共下水道区域への切り替えに向けた準備等を引き続き計画的に実施されたい。

< 総 括 >

今回の定期監査は、例月出納検査を実施しているため、主要事業の執行状況や現地調査を行い、工期の遅れ等がないかを監査したが、概ね工期内・工期中であり順調に執行されていた。

厳しい財政事情の中、今後も地域住民の福祉の向上並びに生活基盤確立のため、費用対効果を考慮のうえ、適切な予算執行が行われるよう望み総括とする。